

サポセン

今月の内容

- ◇お知らせ
- ◇助成金情報
- ◇イベント情報
- ◇ボランティア募集
- ◇イベント報告



■発行日 2025.3.1
 ■発行 高知市市民活動サポートセンター
 ■企画・編集 認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議
 〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43号
 高知市たかじょう庁舎2階
 高知市市民活動サポートセンター
 月～金/10:00～21:00 土/10:00～18:00
 日・祝・年末年始/休み
 TEL: 088-820-1540 / FAX: 088-820-1665
 E-mail: info@shiminkaigi.org
<https://kochi-saposen.net/>



3月まちづくりトークcafé

江ノ口地区から発信！ 居心地の良い空間デザイン

2024年 第40回 都市美デザイン賞を受賞
 太平洋を望みながら美味しいクラフトビールをあじわえる
 高知新港高台の複合施設「SOUTH HORIZON BREWING」
 設計者です。
 江ノ口地区・愛宕町の住民、地域住民になじみある建物に
 新たな息吹を吹き込み、事務所兼住宅として再生。
 地域活動にも取り組む3児のお父さんです。
 街並み、設計、地域のことなどお話しいただきます。



ゲストスピーカー
伊与田 貴章 (いよた・たかあき)
 伊与田建築設計事務所 代表 一級建築士

▼SOUTH HORIZON BREWING



▲受賞した建物から見た風景



2025年3月22日 (土)
10:00～11:30
 高知市立江ノ口小学校
 生涯学習室



申込QR

※ いつもと場所・時刻が違うのでご注意ください。

要申込

参加無料



▲寄付付きメニューの一例です！

土佐の「おきゃく」2025

×

飲みもって食べもって「寄付ぎふと」

飲んで食べて、社会貢献団体を応援しませんか！
 協賛飲食店で寄付付きメニューを提供し、
 お客様に飲食していただくたびに寄付が入る
 仕組みです。

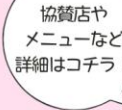
集まった寄付金は、子ども支援や被害者支援
 など、県内のNPO団体へ寄付されます。

【実施期間】

2025年3月1日(土)～2025年3月31日

【問合せ】

高知市市民活動サポートセンター
 TEL: 088-820-1540 (担当: 松本)



★トークcaféのお問い合わせも高知市市民活動サポートセンターまで★

★紙面の都合により、必要最低限な情報のみを抜粋しています。詳細につきましては各団体のホームページをご覧ください。直接お問い合わせ下さい。

助成金情報

伴走型就学・学習支援活動助成

本活動助成事業は、様々な困難を抱えている子ども達に対してマンツーマン又は比較的少人数で向き合い、高校・大学・専門学校等への進学・卒業を支援している非営利型の活動団体を対象に、学習環境の改善や意欲向上のための活動資金を助成します。

【応募締切】

2025年3月7日（金） 12:00

【助成金額】

上限 30 万円～上限 300 万円
(団体の組織構成等により制限あり)



【助成対象団体】

日本国内での非営利活動をされている、次の2つの団体に助成します。

- ① 高校・大学・専門学校等への進学・卒業を支援する活動団体
(既に当該学習支援活動の実績がある団体)
- ② 現在の活動を拡充して、高校・大学・専門学校等への進学・卒業を支援する活動にチャレンジする意欲のある団体

【助成対象事業】

対象活動の領域は、以下のような活動を想定しています。中学生及び高校生並びに大学生等を対象とした非営利の学習支援活動のうち、

- ① 公的施設等を利用して、参加者一人ひとりの習熟状態や学習環境に合わせた個別学習支援活動。
- ② 地域の大学と協力して、大学生ボランティアによる学習支援活動。
- ③ 訪問型支援や集合教育とのハイブリッドな学習支援活動。
- ④ 重度の障がいや困難を抱えている学生への継続的な学習を包括的に支援する活動
- ⑤ 高校・大学・専門学校等への進学を目指している学生の保護者への生活改善や子育てに関する指導・相談を行っている活動
- ⑥ 学習支援員を育成する活動、並びに教材や学習ツールを制作・開発する活動等。
- ⑦ 上記に類似する活動



【助成期間】

2025年7月1日～2026年3月31日

【申込方法】

HP から申請書入手し、ウェブ申請システム（Graain）にて提出ください。

<応募・お問合せ先>

- ▼公益財団法人 檜の芽会 事務局（担当：山北）
〒102-0073 東京都千代田区九段北
4-3-1 一口坂中央ビル
- ▼TEL：03-3222-6481
- ▼E-Mail：kashinomekai6482@jcity.maeda.co.jp

わかば基金

「わかば基金」は、地域に根差した福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。これまでに、1016 グループに「支援金」などを贈呈してきました。福祉にとって厳しい時代だからこそ、「わかば基金」は地域に芽吹いた活動をもっと応援していきます。多くのグループからの申し込みをお待ちしています。以下ふたつの部門があります。

- ① 支援金部門
- ② PC・モバイル端末購入支援部門

【応募締切】

3月27日（木） 必着

【助成金額】

- ① 上限 50 万円
- ② 上限 10 万円

【助成対象団体】

<両部門共通>

- ・地域に根ざした福祉活動を行っているグループ
 - ・任意のボランティアグループまたは NPO 法人
- ① 支援金部門
 - ・国内のある一定地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ
 - ・より活動を広げるために物品をそろえたいグループ
 - ② PC・モバイル端末購入支援部門
 - ・パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障がい者に役立ち、活動の充実を図れるグループ

【助成対象事業】

- ① 支援金部門
 - ・地域の高齢者や障害当事者、生活困窮者などの日常生活の支援、さまざまな福祉サービスの提供
 - ・障害当事者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援
 - ・文化・芸術活動などを通じて、障害や年齢の枠をこえた交流や相互理解
 - ・福祉活動を通じての自然災害被災地の復旧・復興
 - ・被災地に必要な新たな福祉事業の展開、など
- ② PC・モバイル端末購入支援部門
 - ・地域の高齢者や障害当事者、生活困窮者などへのパソコン指導サービス
 - ・障害当事者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援



- ・要約筆記や字幕、音声や点訳などでの情報保障
- ・オンラインでの学習支援や相談事業
- ・福祉情報の提供やネットワークづくりを通じての地域福祉活動の向上
- ・福祉活動を通じての自然災害被災地の復旧・復興など



【応募方法】

HP をご確認ください。

<https://www.takara.co.jp/environment/fund/yoko.html>

【申込方法】

申請は所定の申請用紙にご記入のうえ、ご郵送ください。申請用紙は必ず A3 判 1 枚に拡大してご提出ください。用紙は HP からダウンロードして下さい。

<応募・お問合せ先>

▼NHK 厚生文化事業団

▼〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-4-1
NHK 厚生文化事業団「わかば基金 ○○部門」
係

※あて先の「○○」には、「支援金」か「PC モバイル」のどちらかをご記入の上、郵送してください。

▼TEL : 03-3476-5955

<応募・お問合せ先>

▼宝ホールディングス株式会社

▼〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸
東入長刀鉾町 20 みずほ信託銀行株式会社
京都支店

公益信託タカラ・ハーモニストファンド事務局 宛

▼TEL : 075-211-5525

▼FAX : 075-212-4915

▼E-mail :

kouekishintaku.kyotoshiten@mizuhotb.co.jp

JAPAN こども基金

学校を休むことで「ホッとした、気持ちが楽になった」という子が多くいる一方で、同時に「不安を感じている」子どもも多く、子ども一人ひとりに合わせた対応、支援が必要です。

家庭、学校、行政だけでは行き届かない支援を NPO など非営利組織が担っていますが、地域に根付いて地道な活動をしている団体ほど、資金難に苦しんでいるところが数多くあります。それらの団体の活動を支えたい。そのため基金です。

タカラ・ハーモニストファンド

タカラ・ハーモニストファンドでは、毎年、日本の森林・草原や水辺の自然環境を守る活動や、そこに生息する生物を保護するための研究などに対して助成を行っています。

【応募締切】

2025年3月28日(金) 必着



【助成金額】

助成金額は所要額とする。総額は以下の通り。

2025年度助成総額 500万円

※ 助成件数は10件程度とする

【助成対象】

つぎの条件を満たす実践的な活動・研究とします

- (1)具体的に着手の段階にある活動・研究
- (2)営利を目的としない活動・研究
- (3)活動・研究主体の資格は問わないが、次の条件を満たすもの

【助成対象事業】

以下の(1)~(3)の内容に関する実践的な活動及び研究に対して、助成を行います。

- (1)日本国内の森林・草原、木竹等の緑を保護、育成するための活動または研究。
- (2)日本国内の海・湖沼・河川等の水辺の良好な自然環境を整備するための活動または研究。
- (3)日本国内の緑と水に恵まれた良好な自然環境の保全及び創出に資するための活動または研究。

【助成期間】

助成期間は、原則として助成金贈呈日より1年間とするが、助成金を2年間にわたって利用することも認める。

【応募締切】

2025年3月31日 17:00 必着

【助成金額】

助成総額 100万円

(助成件数 3~5 団体程度)



【助成対象】

不登校の児童・生徒（小学生・中学生）の支援を行っている団体

※法人格は問いません。ただし、次の団体は除きます。

国、地方自治体、反社会的団体、宗教法人、個人、営利目的とした株式会社、有限会社などの組織、趣旨や活動が政治・宗教・思想・営利などの目的に著しく偏る団体

【助成期間】

2025年4月1日~2026年3月31日

【申込方法】

HP をご確認ください。

<https://www.jkkyoukai.com/childfund/>

<応募・お問合せ先>

▼認定 NPO 法人ジャパン・カインドネス協会

▼E-mail : kunitachi@jkkyoukai.com



ドコモ市民活動団体助成



本助成事業では、子どもを取り巻くさまざまな社会課題の解決をめざす活動に加え、生物多様性が保全された豊かな自然を未来の子どもたちへひきつぐことを目的とした環境保全活動を支援しています。さらに、人口減少が進む社会の中で、支援の質を維持しながら活動を継続できるよう、人材育成や資金調達の仕組みづくりなど、活動基盤の強化に取り組む団体も積極的に支援します。

※ 以下の分野により条件が変わってきます。

- ①子ども分野 ②環境分野

【応募締切】

2025年3月31日(月) 17時厳守

【助成対象事業】

①子ども分野

(1) 子どもの健全な育成支援

- 1.不登校、ひきこもりの子どもや保護者に対する支援 2.虐待や性暴力により社会的養護を必要とする子どもの支援及び虐待防止啓発活動 3.非行、犯罪から子どもを守り、立ち直りを支援する活動 4.子どもの居場所づくり 5.障がいや難病のある子供の支援 6.マイノリティの子どもの支援 7.地震、台風などの自然災害で被災した子供の支援 8.上記以外の「子どもの健全な育成」を目的とした活動

(2) 経済的困難を抱える子どもの支援

- 1.学習支援 2.生活支援 3.就労支援 4.これら以外で「経済的困難を抱える子どもの支援」を目的とした活動

②環境分野

(1) 生物多様性の保全推進活動

- 1.自然環境の保全 2.絶滅危惧種等の保護 3.環境学習 4.これら以外で「生物多様性保全の推進」を目的とした活動

(2) 30by30 目標達成に貢献する活動

- 1.「自然共生サイト」認定制度への申請をめざす活動 2.「自然共生サイト」認定後の活動のステップアップを目的とした活動

【助成金額】

- ① (1) 80万円
(2) 110万円
② (1) 110万円
(2) 300万円(助成期間2年間分)



【応募資格】

①②共通

- ・日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体とし、活動実績が2年以上であること。
- ・任意団体については、5人以上のメンバーで構成され、ホームページ、SNS(ブログ、フェイスブック等)による活動情報の発信や団体情報の開示を行っている団体。

②(2)は以下も追加

「30by30 目標に貢献する活動」については、「自然共生サイト」への認定登録をめざす団体及び認定を受けた団体

【助成期間】

- ①(共通) 2025年9月1日～2026年8月31日
②(1) 2025年9月1日～2026年8月31日
(2) 2025年9月1日～2027年8月31日

【申込方法】

HP から申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、申請フォームからお申し込みください。

<https://www.mcfund.or.jp/jyosei/2025/no23/>

<応募・お問合せ先>

▼NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)

▼〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー41F

お問い合わせは以下のフォームからお願いします。

<https://www.mcfund.or.jp/jyosei/contact.html>

子どもまんぷく基金



今、日本では9人に1人の子どもが相対的貧困状態にあると言われています。また、物価高騰の影響もあり、生活に困窮する家庭は増加傾向にあります。貧困は、子どもたちから様々な機会を奪います。おいしいごはんをお腹いっぱい食べるという幸せも、その1つです。

「子どもまんぷく基金」は、「子どもたちにおいしいものを食べてもらい、子どもらしい幸せな時間を過ごしてもらいたい」という寄附者のおもいを受けて設立されました。この基金は、養育環境の理由で十分な食事が取れない子どもたちへの食事支援事業を助成します。

特に、今すぐに支援が必要な子どもたちに対する、機動的かつ直接的な支援をしている事業や団体を中心にサポートします。

【応募締切】

2025年4月2日(水) 17:00

【助成金額】

上限 300万円
(採択件数 4~6 団体予定)



【助成対象団体】

- 社団法人・財団法人(一般および公益)、社会福祉法人、特定非営利活動法人など非営利活動・公益事業を行う団体(法人格のない任意団体も含まれます) ※営利を目的とした組織(株式会社等)は含みません。

- 日本国内に事務所がある団体

【助成対象】

養育環境の理由で十分な食事が取れない子どもたちへの食事支援事業や、子どもたちを養護している施設や団体への食事支援事業



【助成対象事業例】

- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭など支援が必要な場所へ食材などを提供したり、食材の宅配をしている事業
- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭などで育つ支援が必要な子どもに食事を提供している事業
- ・子どもたちを養護している施設や団体へ食事や食材提供をしている事業

【助成期間】

2025年7月1日～2026年6月30日

【申込方法】

助成電子申請システム（Graain）から応募書類をご提出ください。郵送やメールでの応募は受け付けません。詳しくはHPをご確認ください。

<応募・お問合せ先>

- ▼日本フィナンソロピック財団
お問い合わせは、当財団の代表メールアドレスに事務局宛てにお送りください。
- ▼E-mail : info@np-foundation.or.jp

イベント情報

NPO 法人事務局セミナー

◆日程

2025年3月13日（木） 18：30～20：00

◆内容

NPO 法人は、事業年度終了後 3 カ月以内に事業報告書を提出しなくてはなりません。

そのため、年度末から新たな年度が始まる時期は、さまざまな事務作業を行う必要があります。

事業年度終了する法人が多いこの時期に、これからの法人運営をスムーズに行うために、事務手続きや総会の開催に向けた準備を確認しましょう。

そして、実際の事業報告書様式例も見てみましょう。

◆ご準備いただくもの

法人の定款、特定非営利活動法人の手引（高知県発行：オレンジ色の表紙）

・同内容の講座を3/8に四万十市で現地開催します

◆会場

オンライン（zoom 使用）

◆対象

法人事務担当者・事業報告書を作成する担当者、法人の役職員

◆参加費

無料



◆定員

20名

◆主催

高知県ボランティア・NPOセンター



<お問合せ・お申し込み先>

上記 QR コードからお申し込みができます。

- 高知県ボランティア・NPOセンター
- 〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1
県立ふくし交流プラザ内 担当：武田・岩本
- TEL：088-850-9100
- E-mail：kvnc@pippikochi.or.jp

【子ども食堂向け】 効果的に寄付を集めるセミナー

◆日程

2025年3月13日（木） 13：30～16：00

◆内容

令和6年度に実施した子ども食堂へのアンケートでは、「活動資金の不足」や「食材の確保」が大きな課題として挙げられています。

一方で、子ども食堂への関心が高まり、地域住民や企業等からの寄付は増えてきており、こうした寄付を効果的に活用することも、子ども食堂が安定した運営を続けるための有効な方法の一つです。

寄付集めは、単に資金や食材を確保するだけでなく、子ども食堂の活動への「理解」と「共感」を広げることもつながります。

このセミナーで寄付集めのノウハウを学び、活動に生かしてみませんか？

◆講師

東森 歩 氏（ファンデレイジング・マーケティング）

◆参加費

無料

◆会場

県立ふくし交流プラザ 5階研修室 D およびオンライン

◆主催

高知県ボランティア・NPOセンター



<お問合せ・お申し込み>

申込締切：3月6日

上記 QR コードからお申し込みができます。

- 高知県ボランティア・NPOセンター
- 高知市朝倉戊 375-1 県立ふくし交流プラザ 4階
- TEL：088-850-9100（担当：山本・中谷）
- FAX：088-844-3852
- E-Mail：kodomo-kochi@pippikochi.or.jp

日本の真の実力と高知の可能性



◆日程

2025年3月16日(日) 13:30~16:30

◆内容

人間本来の豊かな暮らしのためには、超過密で出産や育児に不向きな大都市よりも、地方の方が断然有利。全国の市町村の津々浦々をくまなく見て観察した講師(藻谷浩介氏)の知見を基に、地方だからこそその可能性を探ります。

このセミナーは、定員50人限定で、密を避けた会場設定にて開催します。

また、オンラインによるライブ配信も合わせて行いますので、会場には行けないが、視聴を希望されるという方にも、事前登録のうえ配信を行います。

会場での聴講もしくはオンラインでの視聴をご希望の方は下記より、お申込み下さい。

講師：藻谷 浩介 氏

(株)日本総合研究所主席研究員

◆会場

三翠園(高知市鷹匠町1-3-35)



◆参加費

入場無料

◆主催

公益社団法人 高知県自治研究センター

<お問合せ先>

申込締切：3月10日(月)

申込フォームでお申し込みいただける方は、備考欄に

・参加方法(会場、zoom)

・個別相談を希望するか、希望する場合は、3つのうちどれを相談したいかをお知らせください。

■高知県ボランティア・NPOセンター

■TEL：088-850-9100

■FAX：088-844-3852

■E-mail：kvnc@pippikochi.or.jp

そこで、今からでも間に合う助成金やクラウドファンディングの説明会と相談会を開催します。

高知県内の団体対象の3つの説明があります。

18:30 説明「NPOの資金調達～助成金とクラウドファンディングの活用～」

18:45 クラウドファンディング・助成金説明

1. 高知県地域活性化支援事業費補助金
地域課題解決を図る ふるさと納税×クラウドファンディング

2. 高知県共同募金会
地域福祉の推進や孤立しがちな人への支援等の多様な助成プログラム

3. 高知県競馬組合地域福祉振興基金
SDGsを推進する地域福祉活動助成プログラム

19:30 個別相談

※各補助金・助成金の概要説明を行った後、個別相談を行います。(参加人数により変更の場合有り)

20:00 終了

◆対象

助成金申請を考えている方(定員：会場10名)

◆定員

会場10名程度

◆会場

ふくし交流プラザ5階研修室B 又は ZOOM

◆主催

高知県ボランティア・NPOセンター



<お問合せ先>

申込締切：3月11日(火)

参加ご希望の方は、メール、FAX、上記QRコードよりお申し込みいただけます。

メール、FAXの場合は下記をご記載下さい

氏名・住所・TEL・E-Mail

・希望受講方法(会場にて聴講またはオンラインでの視聴)

■公益財団法人 高知県自治研究センター

■TEL・FAX：088-822-6460

■E-Mail：info@kochi-jichiken.jp

NPOのための助成金 クラウドファンディング説明会&相談会



◆日程

2025年3月17日(月) 18:30~20:00

◆プログラム

2025年度が間もなくスタートしますが、「今から新しい事業に取り組みたい」「助成金の申請ができてなかった」など資金調達に困っていませんか？

全ての活動に繋がる 「福祉教育・ボランティア学習」



◆日程

2025年3月21日(金) 13:30~16:30

◆内容

全ての活動に繋がる「福祉教育・ボランティア学習」
～支え合うやさしい地域に向けて～

ボランティア募集

子育て支援ボランティア講習会

▽募集内容

【こうちファミリーサポートセンターとは】

仕事や家庭の都合などで、託児や送迎などの子育ての手助けを受けたい人“依頼会員”と、子育てのお手伝いを行いたい人“援助会員”が『こうちファミリーサポートセンター』に会員登録し、会員間で子育ての助け合いをする有償ボランティア組織です。

入会申し込みは予約制となりますので、まずはお電話でお問い合わせください。

【子育て支援“援助会員”を募集します！】

援助会員として登録を希望される方は、2日間の講習の受講が必要になります。

▽日時

2025年4月24日（木）・25日（金）
9：00～17：00

▽講座内容

専門講師による子供の発育・栄養や保育に関する講習

▽場所

高知市勤労者交流館 2F 研修室 託児あり（要予約）

▽受講料

無料

▽対象

高知市在住の18歳以上の方

▽申込締切

2025年4月12日（土）

<お問合せ先>

こうちファミリーサポートセンターまでお電話ください

△こうちファミリーサポートセンター

△高知市丸池町1番1-14

高知市勤労者交流館1F

△TEL：088-880-5210

△業務時間：9：00～17：30



近年、人口減少や世帯規模の縮小等により、地域の中での繋がり希薄化が進む中、多様な人との関わりや地域の中にある課題を学ぶ機会が減少しており、地域にある福祉的な課題を深刻なものにしています。

こうした中、課題を抱える方への相談支援と地域における多様な活躍の機会と役割を生み出す参加支援、これらを支える地域づくりとを一体的に展開できる包括的支援体制の構築が必要とされています。

社会福祉協議会等は、地域福祉を推進する中核的な団体として、福祉教育・ボランティア学習の取組を通して住民の繋がりがづくりや居場所、役割づくりなど地域の課題解決に向けての活動が求められています。

本セミナーは福祉教育・ボランティア学習を行う目的や方法について理解を深め、地域にある課題の解決に向けて福祉教育・ボランティア学習を計画・実施できるようになることを目的に開催します。

◆講師

野尻 紀恵 氏

日本福祉大学社会福祉学部教授（社会福祉学部長）

◆参加費

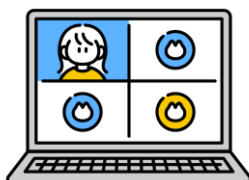
無料

◆会場

県立ふくし交流プラザ5階研修室A
及びオンライン配信（ZOOM）



※オンライン参加の場合、演習の一部参加が難しい場合があります。講師等と意見交換できるので会場での受講をお勧めします。



◆定員

40名程度

◆主催

高知県ボランティア・NPOセンター

<お申込・お問合せ先>

申込締切：3月14日（金）

上記QRコードからお申し込みいただけます。

■高知県ボランティア・NPOセンター（担当：森下）

■TEL：088-850-9100

■FAX：088-844-3852

■E-Mail：masahiro-morishita@pippikochi.or.jp



不定期編集後記

とうとう2024年の年度末がやってきました。サポセンでも各職員が年度末の処理やらなんやらで奔走中です。

そんなことはさておき、春と言えば、間もなくお花見シーズンがやってきますね。私事ですが、数年前に行った三豊市の紫雲出山の桜がとてもきれいで印象的でした。今年も時間があれば行きたいなあと思っています。ラケットを持ってバドミントンしたり、シャボン玉を吹いてみたり…。

お花見を励みに、今日も頑張りたいと思います。



2月まちづくりトークcafé

子どもの声を聴くということ ～チャイルドラインの活動から～

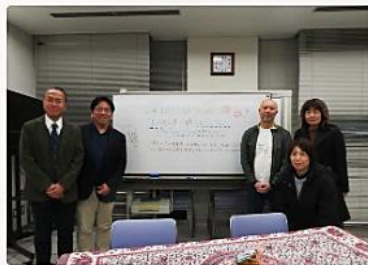
2025年2月10日（月）18：30～20：30
高知市市民活動サポートセンター大会議室

日本小児科学会認定小児科専門医であり公認心理士でもある本浄さんは、具体的な数値を挙げて日本と世界を比較しながら子どもや若者・子育てを取り巻く日本の状況がいかに危ういかを分かりやすく話してくれました。

子どもたちの声を聴いて受け止め寄り添うことの大切さを学ぶとともに、3回のワークで参加者がお互いの考えを出し合うことにより、今私たちがすべきことは何かを深く考えさせられたトークカフェでした。



本浄 謹士さん
チャイルドラインこうち
代表理事



2024市民と共に防災・減災について考える場の提供事業 能登半島地震と南海トラフ地震臨時情報 ～そのときあなたは？～

2.16 (日)
13:30-16:15



講師

山崎 水紀夫さん
さんすい防災研究所

市民活動サポートセンター主催の防災事業を開催いたしました。前半では講師による能登半島地方の支援報告や課題、被災時における心構えなどをお話いただきました。後半ではグループワークの時間を設け、初対面の参加者同士で災害への備えや不安などについて意見交換を行い、他のグループにも話し合った内容を共有していました。「グループワークへの講師によるアドバイスが欲しい」「簡易な模擬訓練を行ってほしい」といった声も見られました。参加者同士で交流をとりながら、防災意識向上に貢献できたのではないかと思います。

